

みえ福祉第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社三重銀総研

②施設・事業所情報

名称：ほくせい保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 森 早苗	定員（利用人数）：150名
所在地：三重県いなべ市北勢町阿下喜 3851 番地	
TEL：0594-72-4182	
ホームページ： http://www.city.inabe.mie.jp/shisetsu/kosodateshisetsu/hoikuen/1002730.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成28年6月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：いなべ市	
職員数	常勤職員：31名 非常勤職員：8名
専門職員	栄養士1名、調理師：5名、通訳者：1名
施設・設備の概要	保育室9部屋、遊戯室、給食室、職員室、医務室、相談室、プール

③理念・基本方針

<保育理念>

豊かな自然の中で心と体をはぐくみ、友達とかかわりながら、たくましく生きる力の基礎を育てます。

<保育方針>

- ・一人ひとりの人権や主体性を尊重します。
- ・豊かな自然環境を生かした保育の実践に努めます。
- ・地域の人とのふれあいや異年齢でのかかわりを大切にしながら、豊かな心を育む保育の実践に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

◇地域との交流

- ・地元の祭り・伝統・文化に慣れ親しむ機会の充実
- ・地域住民の指導による野菜の収穫、竹馬作り、凧作り、将棋

◇外国語通訳者の設置

- ・面談や各種手続きなどの言語補助
- ・外国語で書かれたおたより等の資料作成

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年9月29日（契約日）～ 平成30年3月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回

⑥総評

ほくせい保育園は、平成28年6月に阿下喜保育所と十社保育所が統合して設立されたいなべ市立の保育園です。虹をイメージして東西に長くデザインされた園舎には、三重県産木材が使われ、保育室等が南面を向いていることから、木の温もりが伝わると同時に採光にも恵まれた造りとなっています。また、高低差のある地形をそのまま生かした園庭は、子どもたちの身体的発達を促し、多様な体験ができる場となっています。

◇特に評価の高い点

- 阿下喜地区大西神社に伝わる伝統行事「八幡祭」や阿下喜商店街で開催される「あげきのおひなさん」等、地域に根付いた行事に触れる機会を設けており、地域とのかわりを大切にしたい保育姿勢を感じ取ることができました。
- いなべ市内の保育園で外国籍児が最も多い園であることから、外国語通訳者を設置し、面談や各種手続き等における言語補助、外国語（スペイン語・ポルトガル語）で書かれた資料作成など、外国籍児がスムーズに園生活を送るための工夫がみられました。
- 食物アレルギーを有する子どもへの食事の提供は、アレルギーの原因となる食物のイラストを掲載するなどして視覚的にわかりやすくしたアレルギー児対応の一覧表を作成し、全職員に周知するとともに、毎朝のミーティングで確認を行うことで、子どもたちの安心・安全な保育に取り組んでいます。

◇改善を求められる点

- 感染症予防や発生時における対応について、利用者アンケートでは「感染症の情報をもっとすばやく伝えて欲しい」との意見がありましたので、感染症発生時には、子どものプライバシーに配慮しながら、感染を広げないための保護者への速やかな情報提供が望まれます。
- 相談や苦情解決について改善を求める意見が利用者アンケートでみられました。今後は、保護者等が意見・要望や苦情を申し出しやすい工夫を行うとともに、その内容や解決結果等について、意見・要望等を申し出た利用者に配慮したうえで公表するなどの手順を整備されることを期待します。
- 阿下喜・十社の2園を統合して間もないことから、利用者アンケートでは、園の雰囲気や運営方法の違いに戸惑う意見もみられました。今後の課題として、保護者の意向・要望の丁寧な把握や園の保育に対する考え方・姿勢の説明等を通じて、保育に対する安心感や信頼を高めるための取り組みが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審するにあたり、職員同士があらためて園運営や保育姿勢に関して意見を出し合い協議出来たことは大変貴重な時間を与えていただいたと感謝しています。大事にしななければいけないことやまだまだ不十分なこと、協議を重ねる中で気付かされたことなどこれからの課題が明確になりました。今後は評価結果や利用者アンケート結果を真摯に受け止めて改善の取り組みを進め、地域に愛され親しまれる保育園を目指して全職員で努力していきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。